

《担当者名》 神田 直樹 kanda@hoku-iryo-u.ac.jp 高橋 啓太

【概要】

成人看護各論の学びを発展させ、救命救急センターやICUなどに入室している生命危機状態にある患者や家族への援助を学ぶ。また、重症患者の特徴的病態や症状、災害医療や急変時対応の基本について学ぶ科目である。

【学修目標】

1. クリティカルケアの特徴的な病態メカニズムと生命危機状態にある患者への必要な援助について説明することができる。
2. クリティカルケアにおける家族援助の重要性と看護師の役割・具体的な支援について説明することができる。
3. 災害時における災害医療の特徴と被災者支援活動について説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	クリティカルケアにおける呼吸不全と看護	呼吸不全の指標とアセスメント 急性呼吸不全・ARDSの理解 人工呼吸器装着患者の看護と合併症予防	神田
2	クリティカルケアにおける循環不全と看護	循環不全の指標とアセスメント ショックの分類と看護 ショックを引き起こす代表的疾患・症状の理解（急性心筋梗塞、敗血症、アナフィラキシー、緊張性気胸）	神田
3	クリティカルケアにおける体液異常と代謝異常	脱水のメカニズムと治療 ショックによる体液分布変化の理解 酸塩基平衡の理解と看護ケア	神田
4	災害医療と看護	トリアージの概念と実際 我が国の災害医療体制と看護師の役割	神田
5	急変対応と心肺蘇生	致死性不整脈の理解と対応 一次救命処置と二次救命処置の理解 院内での急変時対応	神田・高橋
6	急変対応と心肺蘇生	患者急変時の看護師の役割と対応 AHAガイドライン2015の理解	神田・高橋
7	クリティカルケアにおける諸問題と課題	重症患者の生体侵襲とケア	高橋
8	クリティカルケアにおける諸問題と課題	我が国の救急医療体制と課題 せん妄のメカニズムと看護ケア 脳死臓器移植と意思決定支援	神田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

指定しない・その都度プリントを配布する

【学修の準備】

- ・成人看護各論（2年次）に学んだ急性期看護の復習をしておくこと（45分）
- ・急変対応と心肺蘇生について、授業時配布する資料を用いて方法や手順を確認しておくこと（60分）
- ・毎回授業の始めに前回の授業内容の小テストを実施するため、復習しておくこと（30分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3

【実務経験】

神田 直樹（看護師・急性重症患者看護専門看護師）

高橋 啓太（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

救命救急センターや集中治療室での実務経験から、重症患者の置かれている状況とその特徴、重症患者に必要な観察点と看護援助、災害医療の概念について講義する。